

ほんはともだち

足立区立東島根中学校
図書館だより

<https://www.adachi.ed.jp/adhisi/j/contents/gakkoutayori/tayori.html> ←バックナンバー

2024年5月 第2号

発行：東島根中学校図書館

学校長：大瀧 訓久

学校司書：直井 なごみ



OPAC↑

<https://private.calil.jp/gk-2003911-z5gbq/>

学校図書館の様子

あつという間にゴールデンウィークが過ぎ去り、学校をあげての運動会の準備に生徒の気持ちも高まっています。そんな中でも落ち着いた雰囲気をもとめて少なくない生徒が学校図書館を利用しています。4月の学校図書館では、1年生が国語の時間に学校図書館を利用しました。利用方法とあわせて、足立区立図書館のサービスや、電子図書館の紹介や利用者登録の方法、東京都立図書館や国際こども図書館のサイトの紹介を行いました。今後調べる学習などに役立つ図書館全般の利用の仕方、オンラインカタログ＝OPACを使用して自分で資料を探す方法の実習をし、それぞれ学校にある本で自分の好きな作品を探し出しました。5月に入り、国語の時間に2年生が「お試し読書の回転ずし」を行いました。一人5冊ほど先生と司書が厳選した本を数分ごとに閲覧して次に回覧する。回覧する際は、面白い・まあまあ読んでもいい・これは勘弁まで暖色～寒色で付箋を貼り、被った場合は話し合いのもとそれぞれ借りたい本を借りるといった内容でした。装丁が地味なためこれまで埋もれていた、へ～！と気になるものの自分では手にしない本を目にして、食わず嫌いが解消されて、とても良い読書の時間になりました。それぞれ利用者アンケートでは、様々なリクエストをいただきました。回答の準備をしています。



図書委員会の活動がスタートしました

図書委員は、図書館運営の宣伝や整備を行っています。昼休みには当番の活動を行う他、4月には、宣伝のために放送で本の紹介を行ったり、校舎の壁に本の紹介ポスターを作ったりしました。5月は、運動会の係の分担もあり、学校行事運営にも協力していきます。

校内放送や廊下にポスターで本の紹介を行いましたのでご紹介します。

3年 図書委員おすすめ

★ 井上真偽/著「ぎんなみ商店街の事件簿～BROTHER 編～」/小学館/2023

みなさんは謎を解くことが好きですか？私は考えることがあまり好きではないですが、この作品を読むと自然と頭の中で考えてしまいます。この作品は、ぎんなみ商店街を舞台にして起こる事件の謎を兄弟4人が推理していく内容です。例えば、第一話は交通事故。運転手は事故の衝撃で、直前に食べていたとみられる焼き鳥の串が喉に刺さってしまい、亡くなります。この事故に残されたいくつかの不可解な点を兄弟が紐解きます。実は、この作品には「SISTER 編」という姉妹3人目線でのストーリーもあります。全く同じ出来事を扱っても、辿り着く真相がまるで違うのです。どちらから読んでも問題はありません。ぜひ読んでみてください！

★ 住野よる/著「また、同じ夢を見ていた」/双葉社/2016

まさか、あんなにもたくさんの名言が出てきて、私を勇気づけるとは思いませんでした。「まったく、人生とはオセロみたいなものですね。黒い嫌なこともあれば白いよいこともある？そうじゃないわ。たった一枚の白で、私の黒い気持ちは一気に裏返るのよ。」

幸せとは、人生とはなにか考えたことがない人、全体に張り巡らされた伏線の謎を解きたい人、ぜひ読んでみてください！



特選

2年 図書委員おすすめ

- ★ 岩貞るみこ/著 「もしも病院に犬がいたら こども病院ではたらく犬、ベイリー」/講談社/2017

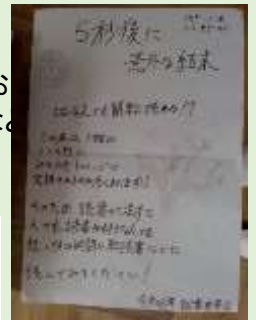
日本で初めての、病院で働く犬ベイリーの物語です。入院している子供たちを笑顔にするのが仕事です。犬が好きなあなたも、そうでないあなたも、一度読んでみてください。

- ★ 桃戸ハル/著 「5秒後に意外な結末」シリーズ/学研プラス/2019

どんな人でも簡単に読める！？ この本は1話がとても短く、見開き1ページで完結するお多あります。そのため、読書が苦手な人でも、読書が好きな人でも休み時間や朝読書など読んでみてください！



「成瀬は信じた道をいく」もあるよ。
あわせて読んでね



ポスターのイメージ

- ★ 宮島未奈/著 「成瀬は天下を取りに行く」/新潮社/2023

私が紹介する本は、宮島美奈さんが書いた「成瀬は天下を取りに行く」です。他人の目を気にして自分が挑戦したいことができなかつたことはありませんか？この本では、主人公の成瀬がお笑いの頂点に立つなど、スケールの大きい目標を立て、他人の目を気にせず挑戦していきます。そんな成瀬の姿を本で読んでいくと、自然と勇気がもらえ、じぶんもしたいことに挑戦してみようという気持ちになることができます。自分のやりたいことに中々挑戦することができない人にお勧めしたいです。また、主人公の成瀬は私たちと同年代の中学生なので、共感できる場所も多いと思います。本屋大賞を受賞した話題の作品でもあるので、ぜひ読んでみてください。

1年 図書委員おすすめ

- ★ 佐藤まどか/著 「世界とキレル」/あすなろ書房/2020

今回紹介する本は、佐藤まどかさん作、「世界とキレル」です。主人公の舞と、いとこの鏡花と一緒に夏やすみの合宿へ行き、二人の信頼関係を築き上げていくお話です。舞は「森の家」という合宿施設に三週間行くことになりました。8人の中学生と一緒に過ごします。スマホやジャンクフードは禁止とされ没収。スマホに依存している舞はついに耐えられなくなり、早朝に脱出を試みますが失敗してしまいます。嫌々参加した合宿。そこから舞の人生に変化が訪れる一冊となっています。気になった方はぜひ読んでみてください。

いかがでしたでしょうか？ 気になる本はありましたか？

ほかにも図書委員は屋休みに当番として来館し、書架整理や新聞のクリッピング(3年生授業目的)などを行っています。

ぜひ来館ください。